

【プログラム名】

◎話の聴き方で心を繋ごう

家庭教育支援ガイドブック「話の聞き方で心をつなぐ」

「話を聞くときのポイント」

1 プログラムの準備等

○適切な実施時期：いつでも

○実施時間：約50分間（説明5分、プログラム45分）

○対象：児童期（小学校中学年～高学年）の子どもと保護者

○準備物、配布物

【配布物】※事前配布

- ・家庭教育支援ガイドブック「話の聞き方で心をつなぐ」「話を聞くときのポイント」
- ・家庭教育支援プログラムワークシート

【備品】

- ・ホワイトボード等

【事前記載】①標題 ②グループワークの進め方・時間配分

- ・バケツ2個（できれば）

○その他（座席など）

- ・特に指定なし



2 展開例 (15:00~15:50 に実施の場合)

時間	プログラムの内容	ポイント 等
15:00~ (7分)	<p>○開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターのあいさつ、自己紹介。 ・今日の講座の趣旨と流れの説明。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おとなのかかわり方が、どう子どもに影響するかを伝える。 ・話したことがあまりない方とペアを作ってもらおう。
15:07~ (5分)	<p>○アイスブレイク</p> <p>【仲間探しゲーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通点を探して仲間を増やし、時間内にたくさん仲間を増やしたグループの勝ち。 	
15:12~ (8分)	<p>○グループワーク</p> <p>【Work① ロールプレイ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表 2 名がエピソードの役割演技を行い、他の参加者は参観する。 ・参観後、ワークシートのWork①について、各自記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割演技の代表 2 名は、ファシリテーターが指名する。 ・タイマーはファシリテーターが管理する。
15:20~ (15分)	<p>【ペアワーク 話す・きく】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで「話し手」と「聞き手」に分かれ、3パターンの会話を体験する。話し手はファシリテーターが示したテーマについて2分間話し続ける。 <p>①聞き手は、話し手と目を合わせず、他の事をして話を聞かない。</p> <p>②聞き手は、相手の話をさえぎるよう途中で自分の感想や意見をどんどん述べる。</p> <p>③聞き手は、うなずいたり同意したりするなど、「聞いていますよ」のアクションを入れながら真剣に聴く。</p> <p>※役割を交代しながら繰り返す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話のテーマは 「最近あった腹の立つ話」 「最近あった楽しかった話」

<p>15:35～ (5分)</p>	<p>【Work② ペアワークの振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の体験で気付いたことをワークシートのWork②に記入し、周りの人とシェアする。 ※スタート時との心の変化や新たな気づきを書き留める。 	
<p>15:40～ (5分)</p>	<p>【Work② 全体共有】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Work②について、発表できる方がいればしてもらおう。いない場合はこちらから指名する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループのまとめとしての発表 & 個人的な気づきの発表
<p>15:45～ (5分)</p>	<p>○まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターが、「子どもに対するかかわり方」について話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドブックの配布資料を示しながら話す。 「話の聞き方で心をつなぐ」 「話を聞くときのポイント」
<p>15:50</p>	<p>○閉会</p>	

◎ 話の聴き方で心を繋ごう

家庭教育支援ガイドブック「話の聞き方で心をつなぐ」「話を聞くときのポイント」

【エピソード】

最近、Aさんの口数が少なくなっていることにお母さんは気が付き、とても心配になりました。

小さいころはとても活発で、よくおしゃべりする子だったのに、どうしてこうなったのだろうと考えても理由が思いつきません。

今日も学校から帰って真っすぐ自分の部屋に行こうとしていたので、お母さんはAさんを呼び止め、聞いてみました。

①お母さん：「お帰り、あなた最近あんまりしゃべらなくなったけどどうして？」

「お母さんが話しかけても返事しかしないじゃない」

①Aさん：「別に話すことないし」

②お母さん：「学校で何があったとか話すことなんていっぱいあるじゃない。前は話してくれたよね」

②Aさん：「めんどくさい」

③お母さん：「めんどくさいって何が？お母さんと話すことが？それともしゃべるのが？」

③Aさん：「そういうのが・・・」

④お母さん：「そういうのって？・・・分からないから聞いてるんじゃない。この間も学校行事があったこと、知らせてくれてなかったでしょう！」

④Aさん：「言ったし！」

⑤お母さん：「聞いてなかったよ」

⑤Aさん：「・・・」（しばらくだんまり）

⑥お母さん：「ほら、まただんまり！どうして話しているのに何も言わないの？人と話す時くらいこっち見て！」

⑥Aさん：「・・・」（お母さんを見ない）

⑦お母さん：「もう～、何が気に入らないの？話してくれないと何考えているかも分からないじゃないの！」

（しばらくしてもだんまりだったので）

お母さんは「もういいよ！勝手にして！知らない」とその場から離れました。



Work① この親子関係に何が起きているのでしょうか？Aさんに対し、どんな言動が考えられますか？どうすれば心を繋ぐ聴き方になるのでしょうか？

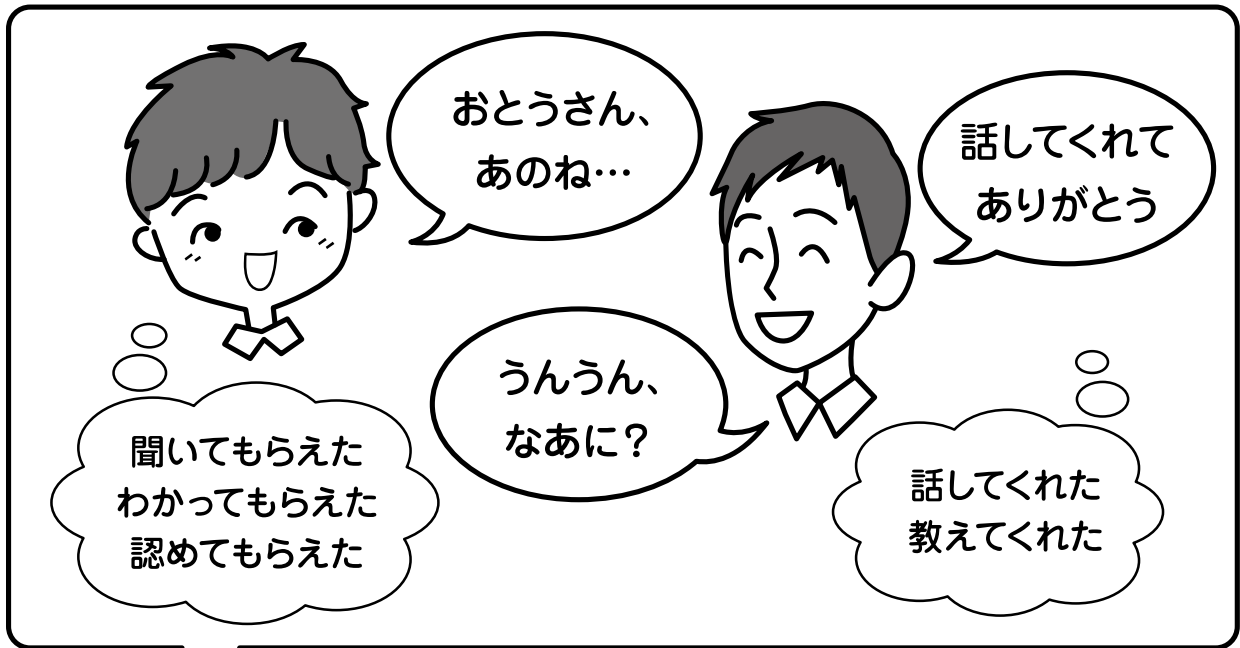
○ エピソードを読んで考えたこと・感じたことを書き出してみましよう。

Work② 一人一人の気づきや感想をグループで共有しましょう。

○ 話し合いを通して気付いたことや感想を書きましょう。



話の聞き方で心をつなぐ



聞いてもらうことで
安心感をもち、もっと
話せるようになります

わかってもらえることで
相手に対する
信頼感が育ちます

会話を通して親子の
信頼関係が築けます

＊聞くときのポイント

- ① 忙しくても手を止めて顔を見て聞く
- ② 話の途中で口を挟まず、最後まで聞く
- ③ 話を聞いたら、まずは気持ちを受け止めて共感する
- ④ 親の価値観を押し付けない
- ⑤ 伝えたいことは「私なら～するよ」
「私は～がいいと思うよ」と私(I)メッセージで伝える

「聞いてもらえた」「話してくれた」の
気持ちを大切にした
会話を心がけましょう

言葉のボールをキャッチして、
心もしっかり受け止めましょう



怒っているときの言葉は
キャッチできません



話を聞くときのポイント

子どもが話しかけてきたときは、一旦手を止めて聞きましょう

- 話を聞いたら、まずは気持ちを受け止めて共感する
- 言いたいことは私(I)メッセージで伝える
- 話の途中で口を挟まず、最後まで聞く
- 親の価値観を押しつけない

あなた(You)メッセージにならないようにしましょう

でも、どうしても手が離せないときは...

- 作業の途中で子どもが話しかけてきたら...
- 話を聞きたいという気持ちが伝わるように
- 何の話をしたいのかだけは聞いておきましょう
- 作業の後は必ずしっかり聞きましょう

聞いてもらっていると、しっかり聞くことができます

家庭での会話がいろいろな場面に生きてきます